

平成31年度(令和元年)滋賀県レイカディア大学同窓会定期総会ダイジェスト版兼議事録

作成：守山・野洲支部

開催日時：平成31年4月24日（水）14：30～16：00

開催場所：県立長寿社会福祉センター レイカディア大学草津校 大教室

出席者数：148名

I. 式次第と概要

司会進行：小島 治（守山・野洲支部）

1. 開会の言葉 司会者
2. 物故者への黙祷 平成30年度に亡くなられた同窓会員（21名）に対し黙祷
3. レイカディア賛歌斉唱
4. 会長挨拶 堀江会長
国内外で未曾有の災害の発生、戦争の勃発など天も地も荒れ、現実はなかなか私たちが望んでいる社会とはなっていない。
そのような中で平成から令和へ元号が変わるが、新しい平成31年度・令和元年度は格別の思い出で臨んでいかなければならない。
同窓会としても本総会を機に身を引き締めて組織の運営を図っていきたいと考えるので、本年度の事業計画について十分にご審議をお願いしたい。
5. 長寿者慶祝 白寿、米寿慶祝者34名中16名が出席され、堀江会長より祝詞と祝い品が手渡された。
6. 来賓祝辞
◇滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課係長 花部和樹 様
知事の祝辞代読・・・滋賀県では変わる滋賀、続く幸せを基本理念として、次の時代を展望した新たな基本構想を策定し、社会の変化を前向きにとらえ経済・社会・環境が共存する持続可能な社会を構築していくこととしている。
次の時代に向けて共生可能な社会、支え合い誰もが心や体を健やかに暮らせるよう、地域づくりに活躍いただき、今後ともご協力をお願いしたい。
◇滋賀県社会福祉協議会事務局長 谷口郁美 様
国のデータでは2040年に一人暮らしは滋賀県で35%となり、男性は75歳、女性は78歳まで働くことを目標としており、生きがいを持って働くこととしている。
レイカディア大学は、私・あなた・地域の人と人の「いきいき」を大切にされており、同窓会の皆さんはそれを実践されている。
今年度、私たちも42期募集等、新しい仲間の入学に向けて取り組み、仲間を増やしていきたいと考えるので、共に地域と一緒に良い1年にしていきたい。
7. 議長選出 事務局一任の声をいただき、但馬貞夫氏（守山・野洲支部）を指名議長登壇、挨拶

II. 議事審議

1. 第1号議案 平成30年度事業報告

(1) 活動の総括 事業報告：堀江会長

“オールレイ大で未来へ向かって天翔る”とのキャッチフレーズを掲げて臨んだ平成30年度は「地域貢献活動事業・組織活性化事業・広報事業・運営事務事業・自己研鑽事業」に、会員自らが率先垂範して活動していく環境作りを目標としてきた。

- ①同窓会の社会的認知度の高揚を図るため、本部・支部共に多面的な取組みとして「美国会」など公知性の高い団体支援に加わるなど、新たなボランティア活動の側面を見出せた。
- ②同窓会の法人成り(NPO法人化)については、検討委員会を立ち上げ取組みを展開してきたが、コンセンサスを得るに至らなかった。
- ③ホームページの充実と継続性を維持するためサイトマップの簡略化に取り組み、投稿内容も活発になってきた。
- ④サポート隊やNPO法人レイカディアえにしの会との連携については、頼られる存在として母校の発展に寄与している。
- ⑤男女共同参画組織の定着については、重点課題と位置づけたが期待値には至らなかった。
- ⑥支部活動については支部の主体性を尊重しながら、基本構想については本部方針・本部会則・規約を踏まえたものとなるよう期待したが、引き続き速やかな改善を求めたい。
- ⑦各部会活動の施策は種々実ってはきているが、入会者の減少・会員の漸減・支部力の格差、学生募集の危機など課題は多く有り、取り巻く多様性への変化に対応していきたい。

(2) 各部会の活動報告

①総務研修部会 事業報告：長谷部部会長

- ・平成30年度本部定期総会の開催 議案は賛成多数で承認。出席者数：112名
- ・「必修講座(有料)」聴講の実施 草津校にて4回実施 聴講者数：延べ74名
- ・「必修講座(無料)」の聴講 草津校1回 聴講生34名 米原校1回 聴講生：39名
- ・レイ大学長との懇談会開催 同窓会2名参加し、取組みの説明、学長との意見交換

②広報情報部会 事業報告：中山部会長

- ・「會報第35号記念号」の発行 編集体制を強化、予算枠の関係でモノクロ版になった。
- ・同窓会入会案内の作成 入会促進を図る為のパンフレットを作成し、在校生へ配付。
- ・ホームページ(HP)作成講習会の実施
- ・ホームページ(HP)運営の維持対策 HP管理体制を確立し、HP運営。

③地域活動部会 事業報告：奥田部会長

- ・地域活動の継続と拡大化 サポート隊レイカディアの日に参加：22名、コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーン in 草津に参加：23名、「美しい湖国をつくる会」行事で湖岸清掃実施：6支部114名参加、各支部の地域活動への助成。
- ・第11回「地域活動事例発表会」の開催 9支部より発表 聴講参加者：96名

2. 第2号議案 平成30年度収支決算報告及び監査報告

収入の部	省略
支出の部	省略

決算報告：藪会計

収入合計956,542円－支出合計872,778円 ＝ 次年度繰越金83,764円
各科目でコスト削減を図ったものの、会費の収入減、會報印刷代の支出増により次年度繰り越し金が前年度と比べ減少した。

監査報告：辻監事

会則第8条3項(8)に則り、収支決算報告書・証拠書類・諸帳票等の監査を実施した結果、いずれも適正に処理されていることを報告。

【質問】

総括の⑥に記載の事項は、何が問題でどう改善していくのか具体的に説明いただきたい。

【回答】

支部の主体性は尊重しつつ進めている。会則では本部役員は任期2年であるが、一部支部は任期1年で交替しており役員の育成、活動の継続性から考えると十分でない面があるので、任期を合わせてもらいたいという趣旨である。

第1号議案、第2号議案一括審議の結果、賛成多数で承認を得た。

3. 第3号議案 平成31年度事業計画(案)

(1) 活動の基本方針 提案説明：堀江会長

“地域社会から期待される存在となることを目指して・・・”

私たち同窓会会員にとって、

- ・ 地域活動の担い手としての自覚を末永く持ち続けること。
- ・ 同窓会憲章を守り抜く伝統を息づかせること。
- ・ 社会的評価や認知度を高める活動に、先輩後輩相携えて取り組むこと・・・

を大切に、以下を活動の基本方針とする。

- ①同窓会が魅力有る組織となるため、総務研修部会・広報情報部会・地域活動部会が有機的に結合し、それぞれ多面的機能を十分に発揮していく。
- ②同窓会本部に対する会員のニーズの変化に対応していくために、魅力有る同窓会とはどういうものなのかを1年を掛けて見出していく。
- ③同窓会の体質の強化についても、ボランティア活動をより継続拡大できるよう、助成金等の財源確保に努める。
- ④「會報」の在り方を見直し、親しみやすく読みやすい機関誌となることを目指して、発行形態や仕様を検討しコストを削減する。
- ⑤サポート隊やレイカディアえにしの会および大学(県社協)との連携を密にして、学生募集活動等母校の発展に寄与する活動を強化する。
- ⑥役員改選年度に当り、スムーズな選出で適任者を配置し、より良い組織運営に繋げる。
- ⑦滋賀県レイカディア大学同窓会会員は「地域の担い手」として期待されていることを念頭に置き、前年度の課題となった「入会者の減少」「会員の漸減」「支部力の格差」「学生募集」の課題を優先的に取り組む。

(2) 各部会の活動計画

①総務研修部会 提案説明：長谷部部会長

- ・平成31年度本部定期総会の開催 平成31年4月24日(水)レイ大草津校
- ・「必修講座(無料)」の聴講 草津校、米原校各々で開催(1回/年)
- ・学長との懇談会の開催。
- ・42期学生募集 平和堂店頭でビラ配布を行い勧誘。(4月～6月)

②広報情報部会 提案説明：中山部会長

- ・「會報」発行の見直し 予算の制約上、内容・部数を見直し年2回(6月・12月)発行。
- ・同窓会本部HPのコンテンツの見直し HP管理運営の簡素化、運営体制の充実。
- ・HP作成講習会の開催 各支部のHP担当者のスキルアップを図る。

③地域活動部会 提案説明：奥田部会長

- ・地域活動の継続と拡大化 コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーンへの
参画 開催日6月16日(日)、「美しい湖国をつくる会」支部ごとの実情に沿った活動
計画作成と実施、「ゲームコンダクターへの登録」県内スポーツイベントへのボランテ
ィア参加、各支部との連携、活動支援
- ・「第12回 地域活動事例発表会」の開催 平成31年11月 各支部1テーマ発表

5. 第4号議案 平成31年度収支予算(案) 提案説明：藪会計

収入の部	省略
支出の部	省略

第3号議案、第4号議案一括審議の結果、賛成多数で承認を得た。

Ⅲ. 式次第と概要

8. 議長退任挨拶 但馬貞夫氏
9. 閉会挨拶 岩田副会長

以上